

鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会(第3回協議会)
北上川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会(第3回協議会)



平成29年5月31日(水) 開催
第3回 鳴瀬川等・北上川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会
(北上川下流河川事務所)

主な概要

水防法等の一部改正に伴う改定について
各自治体における主な取組・方針について

首長からの発言の様子



石巻市長

大崎市長

松島町長

大和町長

大郷町長

大衡村長

涌谷町長

美里町長

主な意見内容

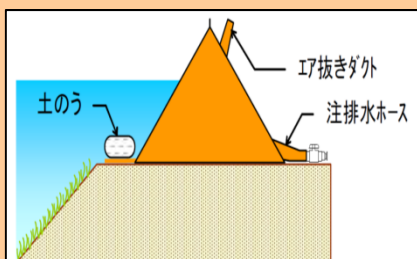
- 石巻市防災センターを拠点にICT技術を活用し、市民へ確実に情報伝達する体制をとっていく。(石巻市長)
- ハザードマップ作成、防災無線整備、メール配信システム・気象観測システム・大規模氾濫水位観測システムを構築。(大崎市長)
- 浸水想定区域図の抜粋を各集会施設に配布し、住民に周知済。今後はハザードマップ(防災マップ)を作成し、町内の全世帯に配布予定。(松島町長)
- 避難訓練での住民の関心は避難後に意識が下がっているように思う為、避難前も住民の意識を深める取組が必要。(大和町長)
- 高齢化が進んでいる為、区長に連絡し、一人暮らしの方、一人一人に対して、早急に避難できる体制を取りながら避難所の開設等を実施。(大郷町長)
- ブルーシートや土のうなど防災資材の事前準備を行い、浸水の恐れのある住宅等に土のうを作成・配布済。(大衡村長)
- 国と県と調整しながらハザードマップを作成中。また、11月には総合防災訓練も実施予定。(涌谷町長)
- 小学校等に対する出前講座による防災教育や、気象台による防災講習会を実施。(美里町長)

すい ~水のう 実演~

「水のう」の特徴

- 給水ポンプを用いて少人数で短時間に構築できるため多大な労力を必要とせず、**早期に防災機能を発揮**。

水のう 設置イメージ図



出典：一般社団法人リバーテクノ研究会HP

